

2023年6月期 決算補足説明資料

株式会社アソインターナショナル

9340 東証スタンダード

2023年8月14日



2023年6月期決算報告

2023年6月期決算ハイライト

決算に関するコメント

売上高

31億円 (+2.4%)

海外売上高比率

3.6% (+0.4pt)

営業利益

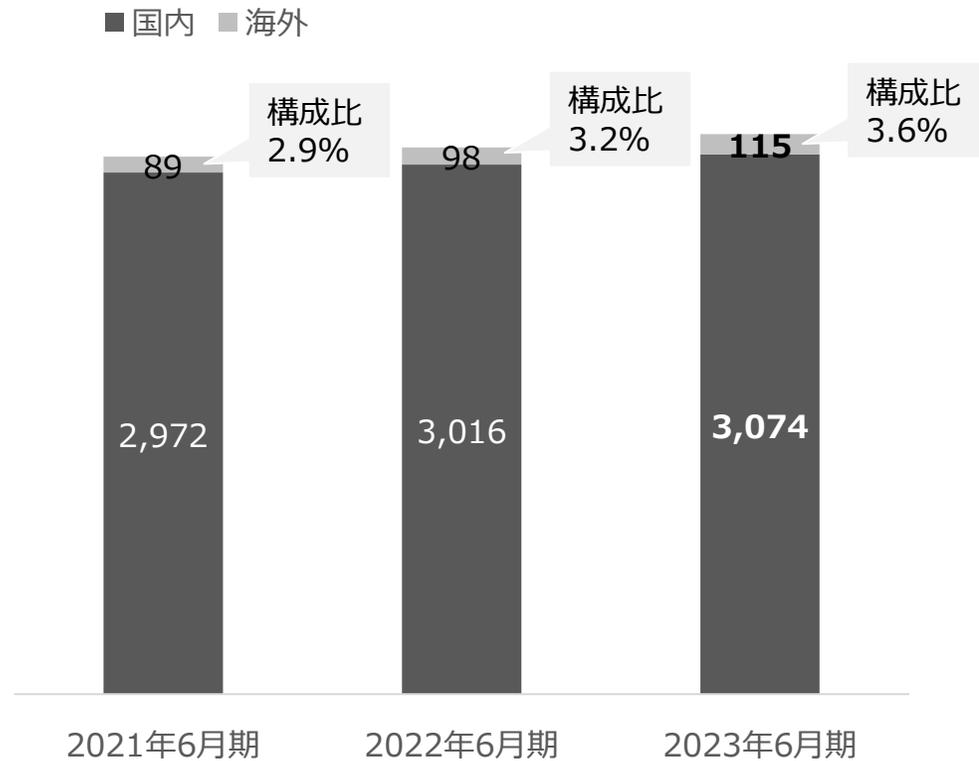
4.6億円 (△10.1%)

デジタル売上高比率

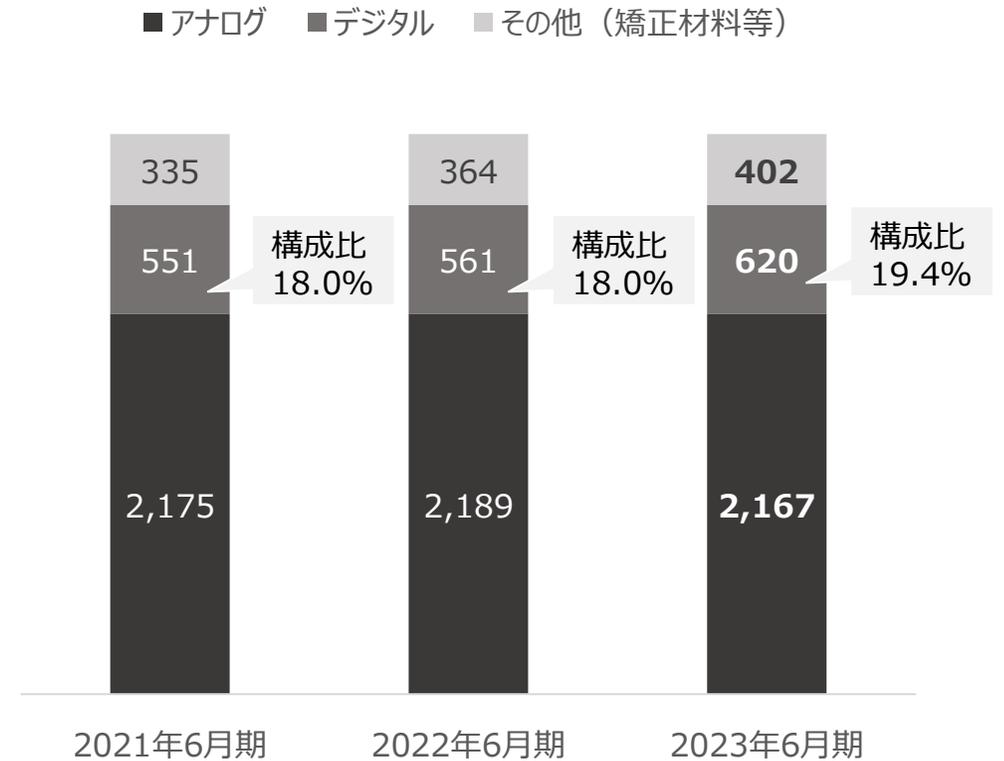
19.4% (+1.4pt)

売上構成

地域別

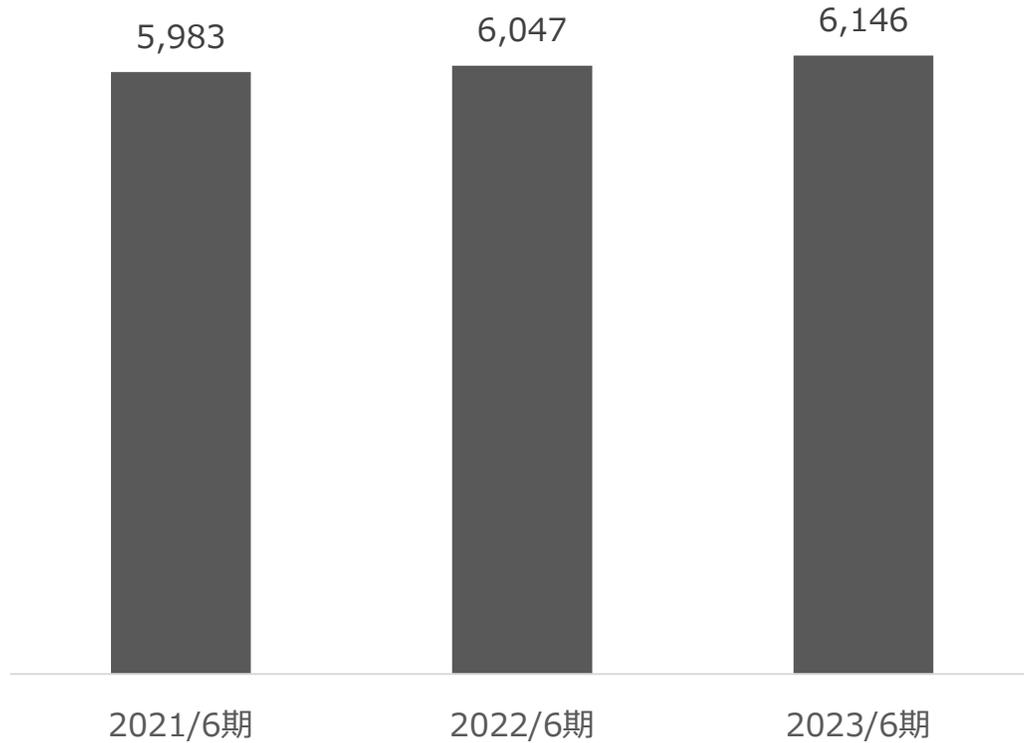


製品分類別

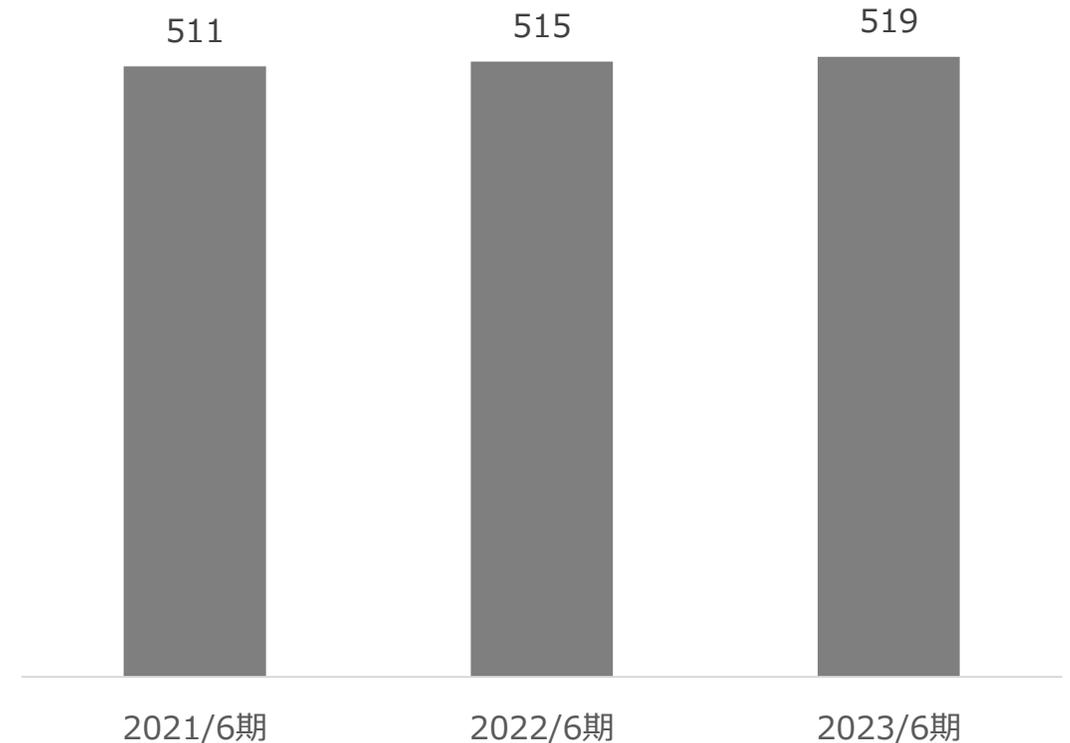


顧客推移

取引歯科医療機関数の推移



取引歯科医療機関当たり売上高の推移



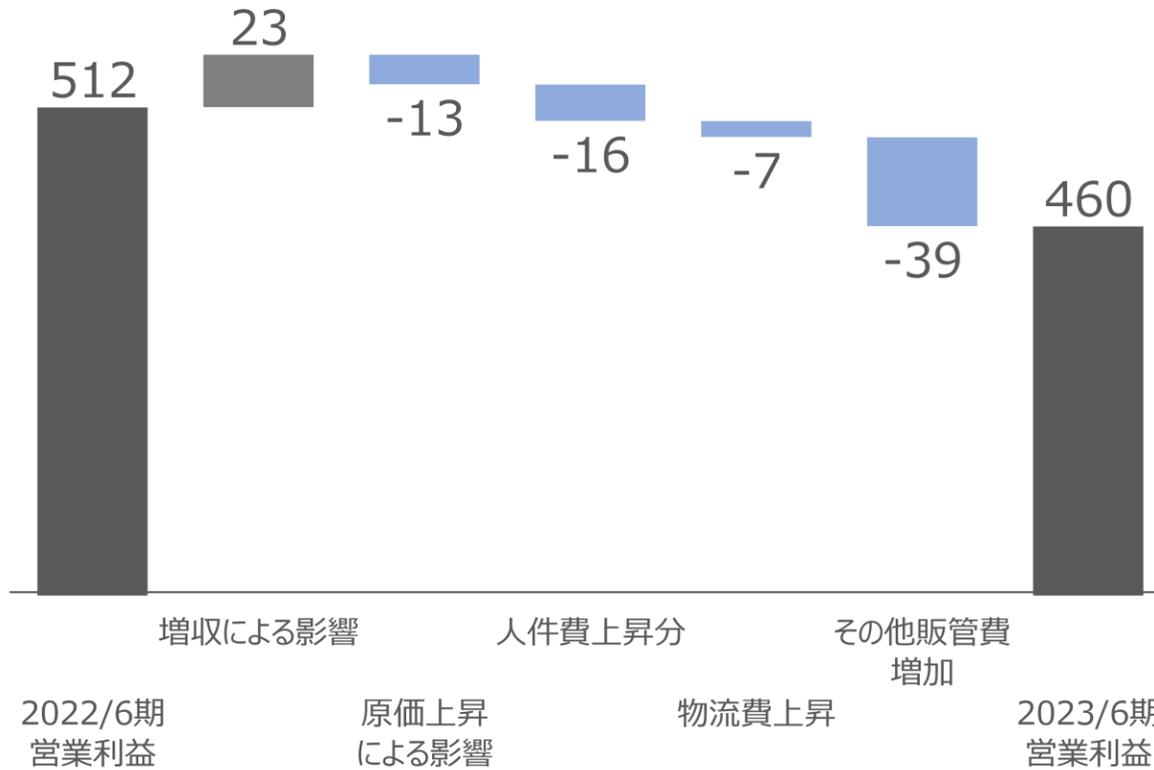
2023年6月期 PLサマリー

単位：百万円	2023/6期 実績	2022/6期 実績	前年同期比較		2023/6期 11/18公表予想
			増減額	増減率	
売上高	3,190	3,115	+74	+2.4%	3,262
売上総利益	1,429	1,419	+10	+0.7%	
営業利益	460	512	△51	△10.1%	528
経常利益	<div style="border: 1px dashed red; padding: 2px; display: inline-block;"> 営業外費用 上場関連費用：21百万円 </div> 433	518	△84	△16.3%	486
当期純利益	338	351	△13	△3.9	335

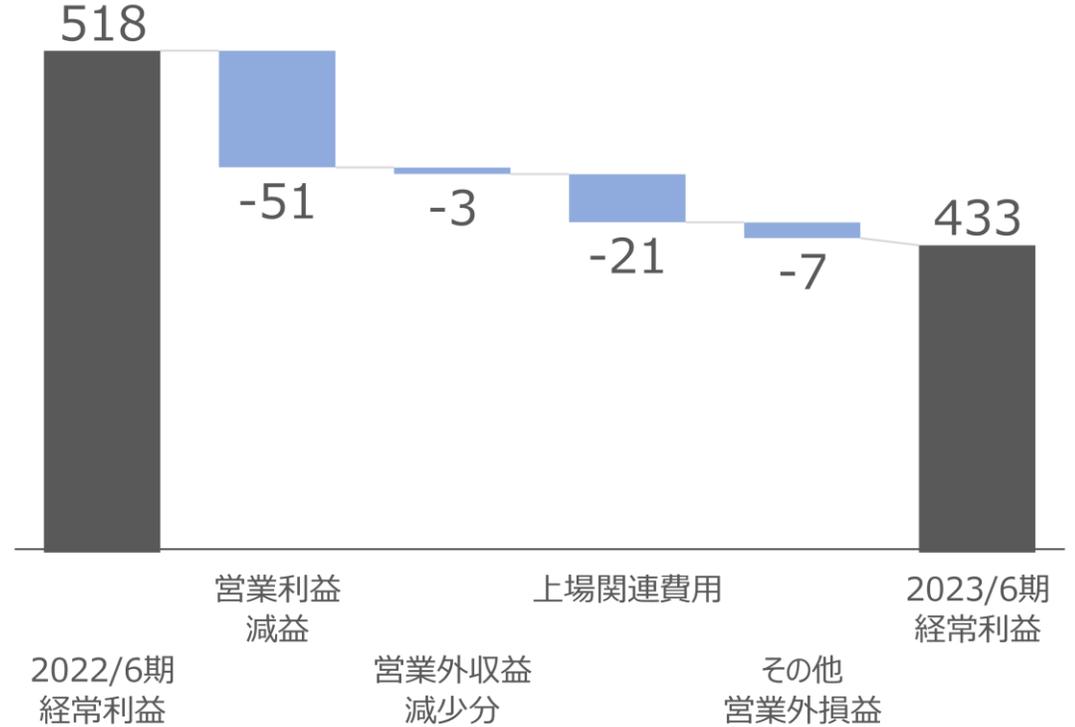
利益増減要因分析（前期比較）

(百万円)

■ 営業利益

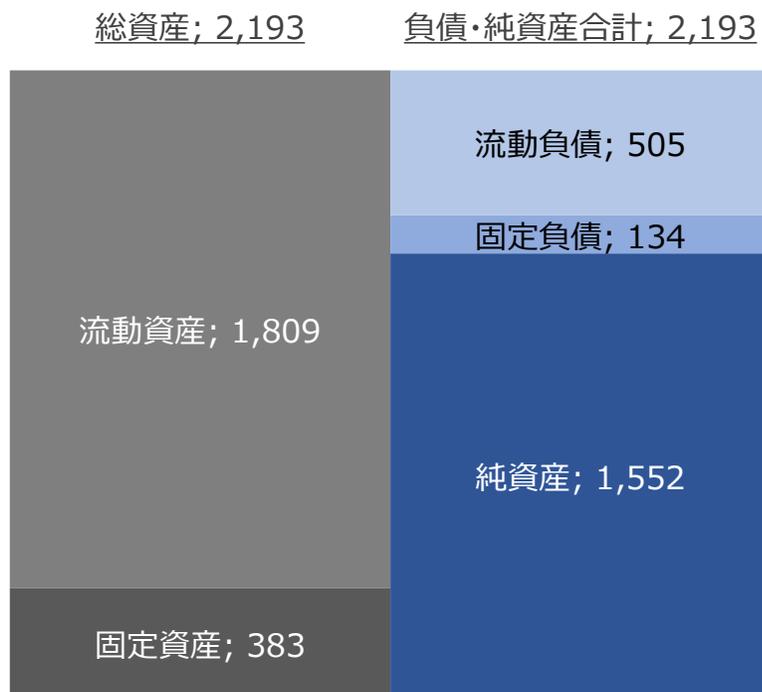


■ 経常利益

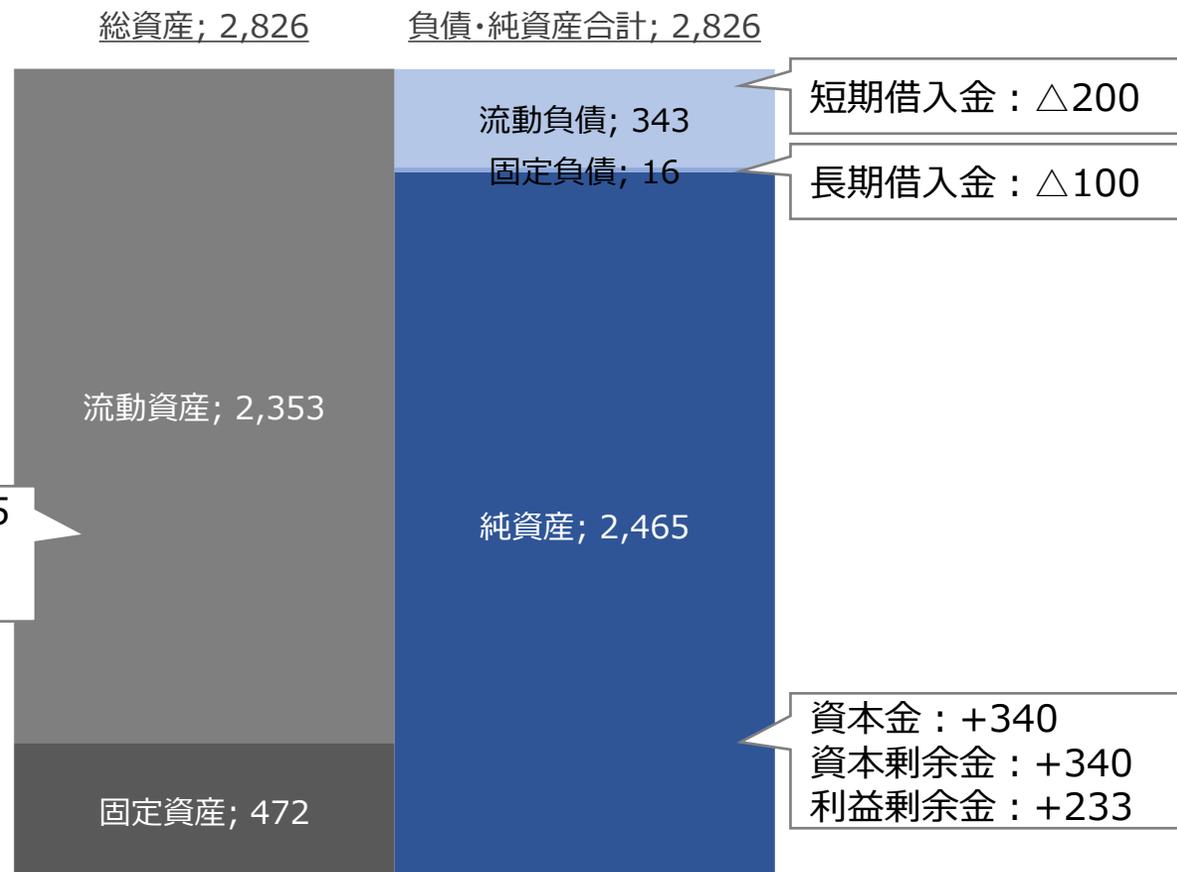


2023年6月期 BSサマリー

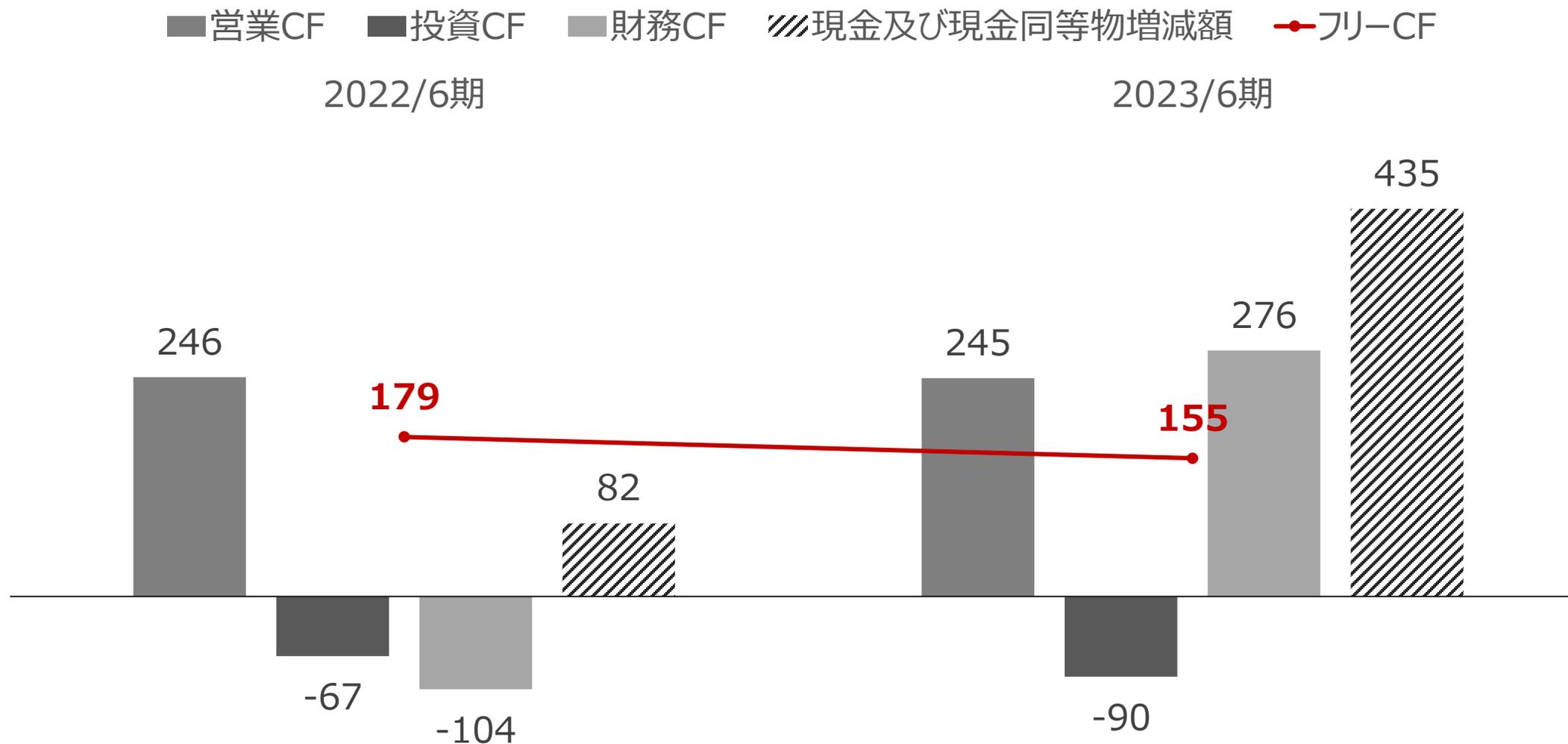
2022/6期末



2023/6期末



2023年6月期 CFサマリー



成長戦略と今期の事業計画

成長戦略：基本方針

国内マニュファクチャラーから、
治療分析データを通じて世界規模で最適生産化を実現する
矯正治療のデジタル・コンダクターへ



強み・特徴を活かし、より大きな市場へ展開

高付加価値品へのシフト推進

グローバル展開の強化

※ MarketsandMarkets「歯科矯正用品の世界市場」（2021年1月21日）、株式会社アールアンドディ「歯科機器・用品年間2022年版」より当社推計

成長戦略：重点施策

<高付加価値品へのシフト>

1

デジタル化：生産能力及び製品開発の強化

2

人材（歯科技工士）の確保・育成とパートナー網の強化

<グローバル展開の強化>

3

グローバル拠点の強化・拡充

2024年6月期 業績計画

海外営業の積極的な展開と製品のデジタル化、社内のDX推進により、事業規模の拡大と利益率向上を図る。

	2024/6期 計画	2023/6期 実績	前期比
売上高	3,463	3,190	+8.6%
営業利益	506	460	+10.2%
経常利益	496	433	+14.4%
当期純利益	341	338	+1.0%

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

中長期成長イメージ

グローバル化と高付加価値化により
世界の歯科矯正市場No.1を目指す



グローバル展開
による成長

デジタル化・
高付加価値化
による成長

国内シェア拡大
による成長

アソインターナショナルのご紹介

会社概要

社名	株式会社アソインターナショナル [英語名：ASO INTERNATIONAL, INC.]		
代表者	代表取締役 阿曾 敏正		
創業	1982年4月		
本社所在地	東京都中央区銀座2-11-8 第22中央ビル4F		
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：9340）／2022年12月23日		
資本金	350百万円（2023年6月末現在）		
役員構成	代表取締役 取締役 取締役 取締役	阿曾 敏正 内山 淳 桑原 勉 詫麻 礼久	社外取締役 社外取締役 社外監査役（常勤） 社外監査役 社外監査役
事業内容	矯正歯科技工物の製造販売		
主な取引先	大学、歯科医療機関		

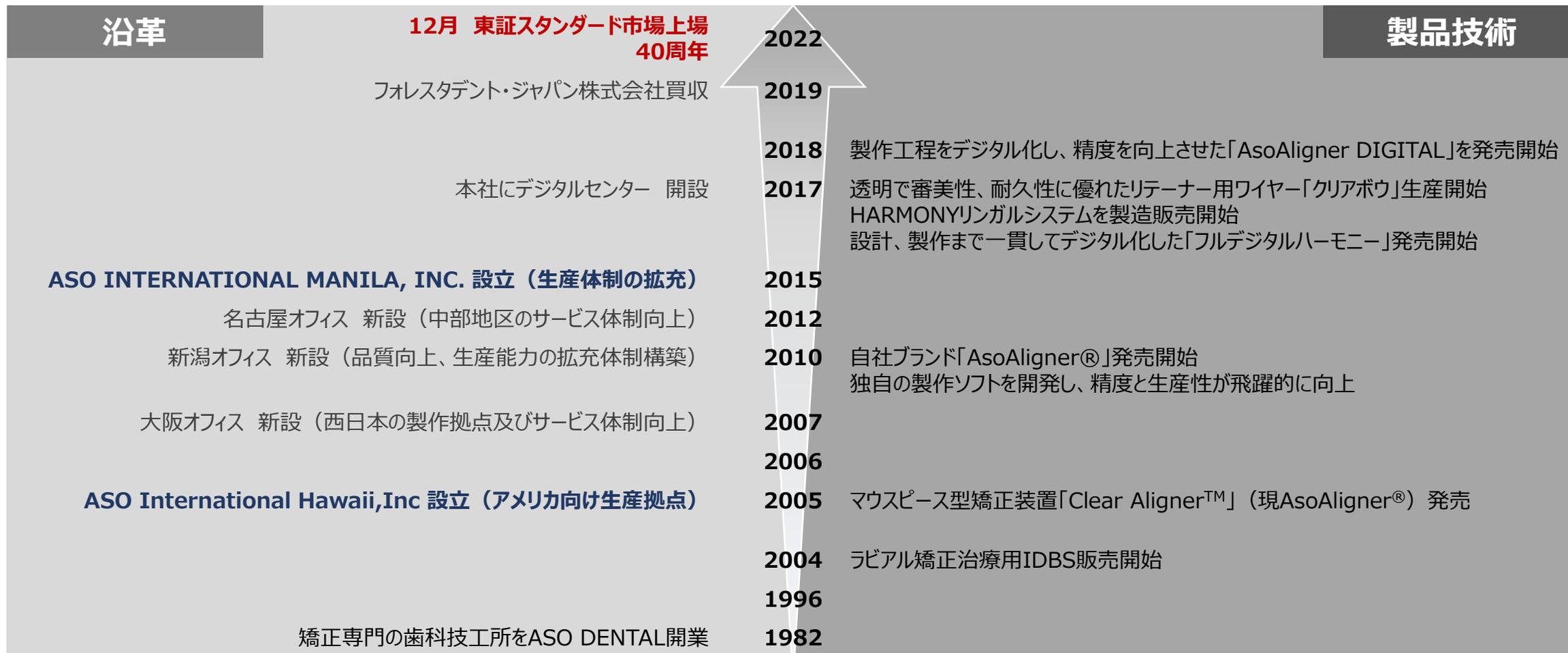


**Professionalな最新技術を
世界から日本へ、日本から世界へ**

世界規模で矯正業界に貢献してまいります。

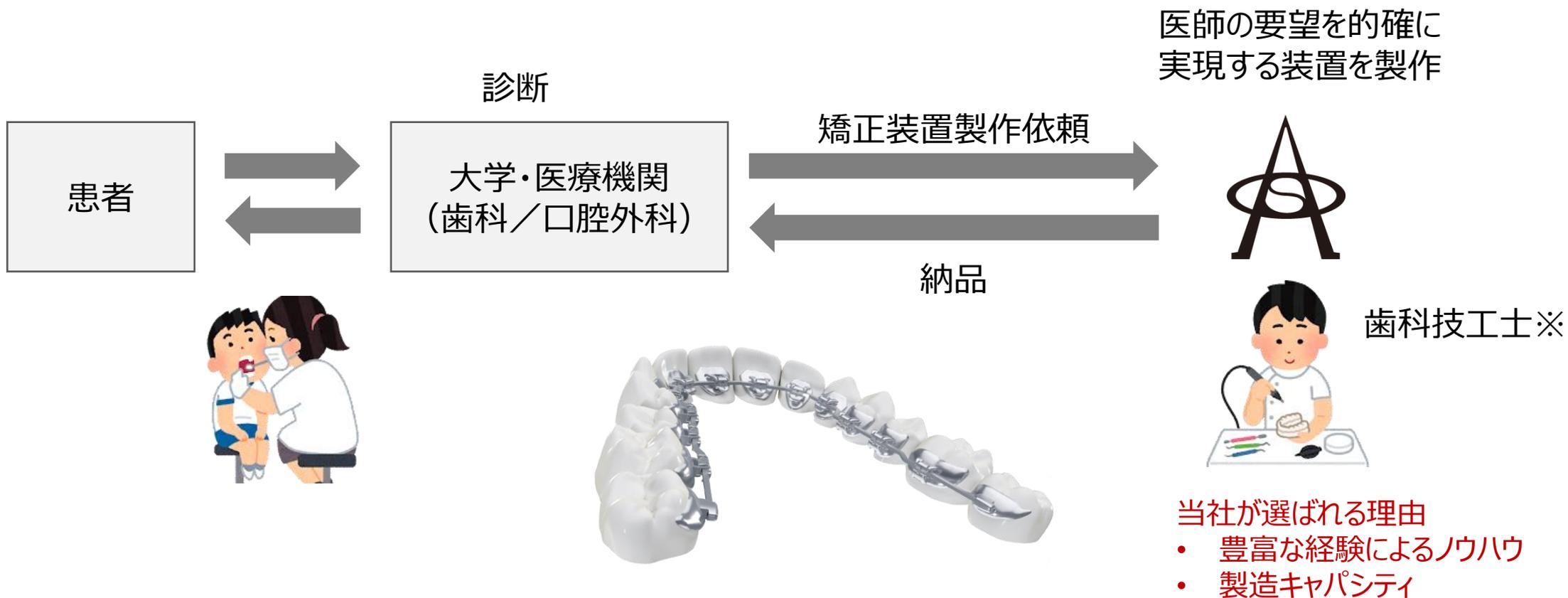
沿革

一貫して矯正用歯科技工物を製造販売。審美向け歯科技工物では**国内シェア約3割**



事業内容

矯正に特化した歯科技工物の製造販売



歯科技工物について

歯科技工物： 口腔健康と生活の質を向上させることを目的として、欠損や疾患による口腔の機能・美観の回復、咬合の調整を行うために歯科技工士が患者の口腔に合った人工の歯や補綴物を製造する器具。機能回復目的と審美・未病目的の二つに大別される。

歯科技工物

機能回復目的

歯科技工物のメイン市場。市場規模は縮小傾向。保険適用による治療が主。一部自費診療可。

- 欠損部の補綴や保護
- 有床義歯/インプラントなど



審美・未病目的 **付加価値大**

国内ではマイナー市場だが市場ニーズは拡大。主に自由診療

歯列矯正治療

- 欠損部の補綴や保護
- 歯の形状、歯列の矯正

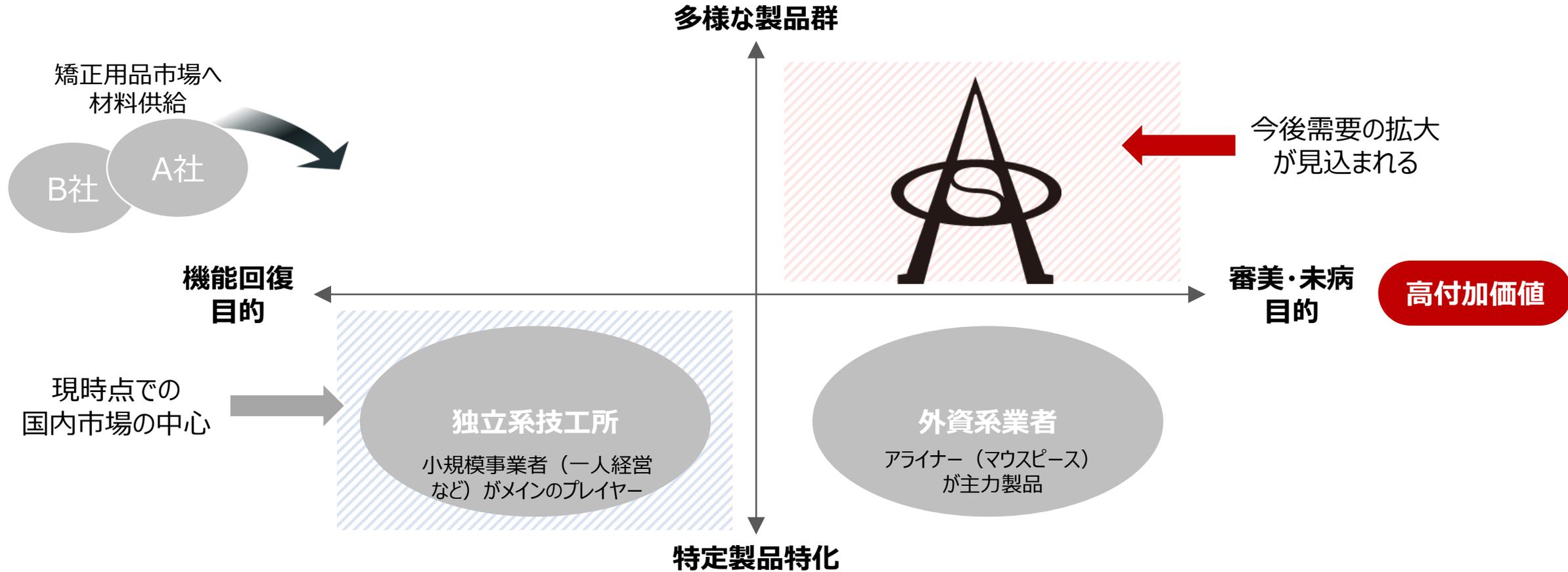
矯正維持（アフターケア）

- 矯正治療後歯列の保持



当社マーケット

市場におけるポジショニング



免責事項

- ☞ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ☞ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ☞ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ☞ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。
予めご了承ください。